



JCS日本語学校エッジクリフ校

具合の悪い生徒の登校規制について

目的：具合の悪い生徒が登校できる状態か否かの目安に使う。

発熱 Fever	発熱とは 37 度以上の熱。登校する前、9 時間以内にパナドールやそれに類似する解熱剤が必要な場合も発熱とみなす。	発熱がある時は登校させない。発熱が、治まってから 24 時間は登校させない。
下痢または嘔吐 Diarrhoea & Vomiting		下痢または嘔吐の症状がある時は登校させない。および、嘔吐または下痢が治まってから 24 時間は、登校させない。
気管支炎 Bronchitis	普通の風邪の症状で始まり、咳、頻呼吸、喘鳴とひどくなる。	生徒が元気になるまで登校させない。
クループ(急性喉頭炎) Croup	普通の風邪の症状で始まり、犬が吠える様な特徴的な咳をし、吸気に喘鳴を伴う。	生徒が元気になるまで登校させない。
耳炎 Ear Infections	耳痛、発熱、嘔吐。ひどくなると、耳から膿が出る。ほとんどの場合、抗生剤が必要。	生徒が元気になるまで登校させない。耳からの膿の排出が止まるまで登校させない。抗生剤投与 1 日目は登校させない。
インフルエンザ Influenza	呼吸器系のウイルス感染。発熱、頭痛、悪寒、喉の痛み、咳。	生徒が元気になるまで登校させない。
鼻水 Runny Nose	黄色、緑色の鼻水が出る。	登校してもよい。ただし、生徒が無理なく授業に参加できること。
百日咳 Whooping Cough	感染力の高い疾患。普通の風邪症状で始まり、咳き込みが激しくなっていく。「ヒューヒュー」という長く高い音を伴う呼吸音が現れる。	生徒が元気になるまで登校させない。抗生剤投与開始から 5 日間登校させない。
ロタウイルス Rotavirus ジアルジア Giardiasis カンピロバクタ Campylobacter クリプトスポリジウム Cryptosporidiosis 細菌性赤 Shigellosis サルモネラ症 Salmonellosis	嘔吐、発熱、下痢	症状がある間は登校させない。下痢、嘔吐が治まってから 24 時間は登校させない。
ノロウイルス Norovirus	嘔吐、発熱、下痢	症状がある間は登校させない。下痢、嘔吐が治まってから 48 時間は登校させない。
水疱瘡 Chicken pox	赤い発疹から始まり、水泡(水膨れ)が体中にできる。発疹は 1 週間ほどでかさぶたになる。水疱瘡は感染力が高い。	発疹が全て、かさぶたになるまで、登校させない。



JCS日本語学校エッジクリフ校

ヘルペス (口唇ヘルペス) Herpes/Gold sores	頭皮、顔、体、四肢に小さな赤い発疹ができ水膨れ、かさぶたになっていく。単純ヘルペスウイルス感染。	生徒同士の接触が多い幼児部の生徒は、水膨れから膿が出ている場合は登校させない。小学部生徒は登校しても良いが、膿が出ている患部を保護テープで覆う。
手足口病 Hand foot & mouth disease	ウイルス感染。水疱(水膨れ)が、口や手足にできる。	発疹が全て、かさぶたになるまで、登校させない。
伝染性紅斑(りんご病) ERYTHEMA INFECTIOSUM	発熱、顔面 特に頬に赤い発疹ができる。レース模様のようなまだらな発疹が体や四肢にできる。	登校してもよい。
しらみ HEAD LICE	頭皮のかゆみ。しらみ、しらみの卵が、頭皮に見える。しらみの卵は少し透けた艶のある白色で、フケに似ており、頭髪にくっついている。	しらみ、卵 駆除ができるまで、登校させない。家族全員駆除を行う。
インペチゴ 濃痂疹(とびひ) IMPETAGO	細菌による皮膚感染。小さな赤い発疹からはじまり、水膨れ、皮膚のびらんになってしまう。	抗生剤投与 24 時間以内は登校させない。患部は防水の保護テープで覆う。患部がテープで覆えない場合は、患部がかさぶたになるまで登校させない。
麻疹 (はしか) MEASLES	発熱、倦怠感、鼻水、咳、結膜炎の症状後、3日から7日後に発疹が出現する。発疹は頭部からはじまり、体幹、下肢に広がる。	発疹がでてから、最低4日間は登校させない。
水いぼ Molescum Contagiosm	皮膚にできる2mm~5mmの痛みを伴わないピンク、白色のいぼ。いぼの中央はくぼみ白い芯がある。	登校してもよい。いぼはうつるので、保護テープで覆っておく。
突発性発疹 Roseola	ウイルス感染。突然の高熱が3から5日続き、解熱とともに発疹が全身に現れる。	生徒が元気になるまで登校させない。
風疹(3日はしか) Rubella (German Measles)	リンパ腺の腫れ、赤くて小さなひとつひとつはっきりした発疹が顔から体中に出る。発疹はすぐに消えることもあるが、患児は他に感染させる危険あり。	発疹出現から4日間は登校させない。生徒が元気になるまで登校させない。
結膜炎 Conjunctivitis Infectious or Viral	片目または両目から膿が出る。目の充血、腫れ。	症状が治まるまで登校させない。
おたふく風邪 Mumps	顎や首の痛みと共に、肩耳または両耳の下や前の方が腫れ、痛みが出る。	耳の腫れ出現から、9日間は登校させない。
ぎょう虫 Worms	お尻のかゆみを訴える。肛門付近に白い糸のようなぎょう虫をみることもある。	登校してもよい。家族全員駆除の治療、対策をする。

登校の規制がない疾患でも、発熱、下痢、嘔吐の症状がある場合は、その項目の登校規制に従う。登校規制期間を過ぎ、感染の恐れがなくなっても、生徒が授業に参加できないように元気がない場合は、登校させない。